

事業実施報告

開催日	令和5年11月3日（金・祝）		
事業名	テンパーク・スマイルキャンプ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	12名
対象	小学6年生		
関係機関名	滝沢市教育委員会（後援） 滝沢市内及び周辺市町小学校		

状況報告 （事業の内容・事業の成果と課題について記載）

〔事業の内容〕

本事業は、中1ギャップの未然防止のため、他者と関わる活動を通して人間関係を構築する契機とすることを目的として実施した。

午前中は、まずアイスブレイクによりボランティアを含め全員の和やかな雰囲気づくりを行った。その後のアドベンチャープログラムでも、パイプラインや浮島渡り、ジャイアントシーソーなどにみんなで挑戦し、参加者の関係づくりを行った。ある程度参加者同士の関係ができたところで野外炊事に取り組んだ。文化の日の開催にちなんで世界の食文化に触れ、班ごとにダッチオープンを使って、パエリアやバイクドアップル、焼き芋づくりを行った。

みんなで昼食にパエリアを食べた後、当施設の石像彫刻をめぐるスタンプラリーをオリジナルルールで行った。ボランティアをハンター役（鬼）とし、参加者はハンターに捕まらないよう逃げながら、協力して与えられたミッションを解いた。活動後、おやつの時間として完成したバイクドアップルと焼き芋を迎えに来た家族と一緒に食べた。

〔成果〕

- ・アドベンチャープログラムでは、何度も失敗を繰り返したが、お互いに励まし合う言葉や行動が見られた。最後に全員で目標が達成できたことで参加者がまとまり、大いに盛り上がる事ができた。
- ・ダッチオープンを使ったパエリアづくりでは、材料を切る係や火をつける係など、うまく分担して協力しながら作る事ができた。パエリアは見た目も華やかで、しかもとてもおいしく出来上がったので全員が大満足だった。
- ・「ハンター出現！スタンプラリー」では、ボランティアがハンター（鬼）役を全力で行ってくれたので、参加者も思いきり体を動かす事ができた。当施設の石像をめぐるヒントを集めたり、トランシーバーを使って参加者同士で連絡を取り合えるようにしたり、ルールを工夫したことで子供たちも夢中になり楽しむ姿が見られた。
- ・事業後のアンケートでは、事業全体に関する満足度について「満足」「やや満足」の合計が100%であった。「アドベンチャープログラム」「ダッチオープンでキャンプ飯」「ハンター出現スタンプラリー」のそれぞれの活動に関しては、全員が「満足」と回答した。また、「友達と仲良くできたか」の設問については、「できた」「だいたいできた」の割合が100%、「新しい友達ができた」「友達づくりへの自信を持つ事ができた」の設問についても、91.7%であった。自由記述においても「これを生かして中学校でも友達をつくらうと思いました」「友達ができるか不安だったけれどすぐに輪になじめてよかったです」などの記載があり、事業の目標を達成する事ができたと考えられる。

〔課題〕

- ・当初の計画では、夏休み明けの8月下旬に1泊2日、対象が滝沢市内の小学6年生に限定されていたこともあってか、参加者が定員を大きく下回った。対象を滝沢市外にも広げたことで参加者が増えたが、次年度も広報の仕方や実施時期を検討して参加者を集めたい。
- ・日帰りということで日程が窮屈であった。参加者からも「もっとやりたかった」との感想があったので、次年度はゆとりを持ったスケジュールになるよう考えていきたい。

状況写真



「アイスブレイク」



「アドベンチャープログラム」



「ダッチオープンで調理」



「昼食 パエリア」



「バイクドアップル作り」



「ハンター出現！スタンプラリー」